木材利用・
普及啓発

岩手県　九戸村

- 九戸村では、林業経営体が少なく、手入れの行き届いていない森林の増加が課題となっている。
- このため、住民自らが森林を整備し、間伐材を買い取る「木の駅」の取組を実施。

□　事業内容

九戸村「木の駅」プロジェクト

- 村内の間伐材を買い取り、公共施設の薪燃料に活用する「木の駅」の仕組を構築することで、「森林整備の促進」及び「木質バイオマスエネルギーの地産地消」を図る

【事　業　費】12,478千円（うち譲与税12,478千円）
（譲与税は、施設整備に係る部分に充当）
【実　　績】敷地面積1,378㎡、作業場面積115㎡

□　取組の背景

・林業経営体の減少や高齢化等により放置された森林が増加
・若年層の林業への興味関心が薄れ、林業経営体・担い手が減少
・地域おこし協力隊４名による自伐型林業の普及推進

□　工夫・留意した点

・住民懇談会や林業関係者等と協議を重ね仕組を構築
・環境保全型の小さな林業についての勉強会を開催
・住民向けのチェーンソー取扱等の安全研修を実施
・地域おこし協力隊との連携によりプロジェクト遂行

□　取組の効果

・村民自らが森林整備を実施し、災害に強く、持続可能で美しい森林づくりを促進
・木質バイオマスエネルギーの地産地消
・環境保全型の多様な林業経営体を育成

（施設全景）

（開所式）

（間伐材の搬入）

◇　基礎データ

①令和４年度譲与額：16,722千円	**②私有林人工林面積**（※１）：10,043ha	
③林野率（※１）：74.9%	④人口（※２）：5,378人	**⑤林業就業者数**（※２）：45人

※１：「2020農林業センサス」より、※２：「R2国勢調査」より